

茅ヶ崎市自立支援協議会 報告書

件 名	令和6年度 第2回 茅ヶ崎市自立支援協議会 当事者部会（カラフル）			
日 時	令和6年9月21日（土）13時00分～14時30分			
場 所	茅ヶ崎市分庁舎5階 特別会議室			
出席者	<div>■ 部会長 臼井 幹夫</div> <div>■ 副部会長 鈴木 大雅</div> <div>■ 部会委員 湊 弘志</div> <div>■ 部会委員 青木 理香</div> <div>■ 部会委員 松本 敬太</div> <div>■ 部会委員 石井 直子</div> <div>■ 部会委員 飯田 裕子</div> <div>■ 部会委員 安藤 美紀子</div> <div>■ （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 課長補佐 前田 玲美</div> <div>■ （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 副主幹 大畑 純子</div> <div>■ （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 主査 池元 佑輔</div> <div>■ （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 主査 渡邊 桃子</div> <div>■ （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 主査 鈴木 敦之</div> <div>※ 傍聴者：2名</div>			
議 題	<div>1 前回の振り返り</div> <div>2 茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議について</div> <div>3 これまで作成した冊子の配布先について</div> <div>4 その他(情報提供など)</div> <div>5 次回の部会の日程について</div>			
<div>【事務局より】傍聴者：豊嶋 太一 氏の紹介</div> <div>豊嶋氏：第1回当事者部会にて案内した「NIKKEI BLUE FESTIVAL 2024」が、一年延期されることになった。交通アクセスの課題が大きく、神奈中バスに協力を依頼したが、運転手不足により叶わなかった。延期を機に、当事者の皆さんの意見を取り入れながら、開催できるよう準備していきたい。</div> <div>1 前回の振り返り</div> <div>事務局：今年度より、安藤氏が仲間に加わった。通院編と外出編をどこに配架すれば有効かつ効果的になるか協議を進めていきたい。</div> <div>なお、代表者会議に当事者部会から当事者委員として出席する必要がある、協議の結果、輪番で出席していくことになった。次回9月26日(木)の代表者会議は鈴木大雅氏が出席予定。臼井部会長は部会長委員として毎回の出席となる。</div> <div>2 茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議について</div> <div>事務局：資料を元に説明。</div> <div>飯田委員：漠然としていてよく分からない。</div> <div>臼井部会長：漠然としていて分からないのは事実。ただ、会議に参加することで、様々な話し合いがされていることが分かったり、茅ヶ崎市内の事業所の実態が分かったりする。</div> <div>飯田委員：この会議では何を目標しているのか。具体的なものはあるのか？</div> <div>事務局：プロジェクトでは短期間で時代に即した課題について協議を行っている。部会は2年間の任期に合わせ地域課題に沿ったテーマを決めて協議をしている。各部会の報告や承認をする場が代表者会議となっ</div>				

ている。

臼井部会長：障がい者支援にはお金がかかるが、他市町村では真っ先に福祉費が削られている。障がい者を支援する事業所がどのような状況、考えているのか、感じる機会にはなる。

飯田委員：今までの代表者会議の経過の中で、出席者に意識の変化はあるか。

臼井部会長：議事録に乗っていないような会議の空気を感じて欲しい。

安藤委員：イメージは何となくできた。

湊 委員：茅ヶ崎市民に障がい者を理解してもらうため、どのような方法をとっていけばいいのか考えている。合理的配慮を講じてもらう策を協議してもらう場になると良い。

話は少し逸れるが、毎年9月23日は手話言語の国際デーであり、啓発活動の一環としてイメージカラーの青色が様々な場所でライトアップされている。聴覚障がいの周知のため、様々な方法を検討していきたい。来年度茅ヶ崎に道の駅が出来ると、ユニバーサルデザインになっていると良いとも思う。

石井委員：代表者会議の予定を教えてください。

事務局：次回は9月26日。3回目は1月22日を予定。

石井委員：当事者側から発信をしようと思っても、場がない。場があっても何をどこまで発信していけばいいか考えてしまう。前向きに検討していきたい。

青木委員：久々に部会に参加した。細かいところまで理解は出来ていないが、参加は検討したい。

松本委員：イメージがまだわからない。

鈴木副部会長：今までの代表者会議での議論の成果を教えてください。会議の流れをつかみたい。

臼井部会長：議事録はホームページに掲載されている。

事務局：当事者の皆様には輪番で出席していただくため、前回の会議録を毎回全員に送付（青木委員は紙媒体、他の委員はメール）することとする。1月22日開催予定の第3回目代表者会議は石井委員が出席。

3 これまで作成した冊子の配布先について

鈴木副部会長：みんなにやさしいお店がさきステッカー掲載店、図書館、小中学校へ配架した方が良いと思う。

臼井部会長：小学校の障がい理解の出前講座や、社会福祉協議会が主催しているボランティア大学に教材として活用してもらいたい。せっかく良いものが出来たので、病院などの職員向けの教材、福祉施設などへの配架もいい。

湊 委員：聞こえない方が利用できる高齢者施設が少ないので、障がい理解を広げるためにも高齢者施設やケアマネジャー等に配架したい。

石井委員：市役所本庁舎の1階の市政情報コーナーやタクシーに置いて、運転手やお客さんにも見て欲しい。

松本委員：みどりの窓口。旅行に行くときなど配慮してもらえると良い。

臼井部会長：県の合同庁舎、バリアフリー教室、各種店舗、バスの運転手にも知ってほしい。バスの終点の降ろす場所が毎回異なるので、視覚障がい者へ駅のどの辺に着いたのかアナウンスしてほしい。

石井委員：お店に配架する段取りはどのようにするのか？

事務局：大型店舗の場合は商工会議所、小売店は商店会を通じて配架を依頼をする。

臼井部会長：配下の依頼に行くときは部会メンバーで時間を合わせて、みんなで行った方が効果あると思う。

事務局：市内の中学校から障がい理解の出前講座の依頼が来ている。今年度開催時に教材として活用して良いか。（→異議なし。）

4 その他（情報提供など）

事務局：9月23日に向けて障がい福祉課では市役所、図書館でブルーライトアップを実施している。他に実施している情報はありますか？

湊 委員：近隣では、神奈川県庁、江ノ島の灯台（シーキャンドル）、厚木のあゆみ橋など、15か所以上はあるし、全国で実施している。1951年世界ろう連盟が設立され、「世界平和」の思いを込めてイメージカラーを青色とした。2025年11月には駒沢競技場でデフリンピックが開催される。世界各国から約5,000名の聞こえない方たちが集い、オリンピックのような形で開催される。前回大会のカナダでは、デフリンピック開催後に、周辺都市がバリアフリーになった。この活動を通じて、障がい者の理解促進に繋いでいきたい。

代表者会議【当日資料２－２】

安藤委員：本日、娘が「最近市役所は青色にライトアップされている」と聞かせてくれたが、今理由がわかった。ここで話を聞くまでは観光客向けだと思っていた。せっかくやっているのであれば、理由がもっとわかるようにPRし、意味を伝えた方が効果的だと思う。

事務局：説明書はあるが、前庭内まで入らないと分かりにくいようだ。周知方法は今後検討していきたい。

豊嶋氏：個人的に、合理的配慮について勉強するグループを2年前から続けている。多種多様な障がいをお持ちの方に集まってもらいたいので、この勉強会への参加や、作成した冊子の確認を是非皆さんにお願いしたい。

臼井部会長：昨年度金融庁から合理的配慮への通達があり、最近では郵便局や銀行などで視覚障がい者に対し、振込み時に職員が対応してくれるようになった。

石井委員：みんなにやさしいお店がさきステッカー掲載店は増えているのか？

安藤委員：みんなにやさしいお店がさきステッカーの掲載店はどこでわかるのか？

事務局：アプリに掲載している。今後ホームページへの掲載も考える。

飯田委員：視覚障害があると窓口での振込み手数料が半額になる。最近はATMで振り込むように促され、職員が付き添ってくれるようになり、とても早く手続きが出来るようになった。視覚障がいとは言わないと認識されない。白状を持っても認識されないで書類記載の時に困ってしまうことはまだまだ散見される。

湊委員：川崎市ではミライロIDをバスの運転手が認識していないことにより、割引料金で乗ろうとしたら、手帳現物でないとダメだと言われ、乗せてもらえずに乗車拒否につながってしまったケースがあった。このようなことを減らしていくためにも冊子を活用していきたい。

５ 次回の部会の日程について

事務局：12月～1月にかけて開催してはどうか。

石井委員：土曜日なら13:30から希望。

青木委員：日中希望。夜は参加不可。今日と同じが良い。

飯田委員：仕事は調整出来るようになったので、土曜日であれば参加できる。

湊委員：他の会議もあるため、空いている時に参加したい。

安藤委員：事前に決まっていれば参加できる。

事務局：次回は12月21日(土)13:30～に決定。会場は追って連絡する。

最後に、自立支援協議会に当事者が参加することは必須ではないが、近隣市では当事者が参画できていないことが課題になっている。茅ヶ崎市は、当事者部会ならびに代表者会議にも参加していただき、先駆的な活動となっている。今後も積極的に参加して欲しい。

配布資料

① 次第

② 茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議について

次回開催予定
令和6年12月21日(土)13:30～会場は未定
以上